
わたしの日記

わたし

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

わたしの日記

【コード】

N0223I

【作者名】

わたし

【あらすじ】

高校生で二次創作の小説サイトを運営するわたしの少し暗めな日記です。

はじめに

わたしは高校生です。

わたしは二次創作の小説サイトを運営しています。

学校ではなるたけ明るい子を努めています、その反動でここでは少し暗いです。

このわたしが本当のわたしです。

苦手な方はご注意くださいね。

連休だよ！

休みだ。

連休だ。

シルバーウィークだ。

でも嬉しくない。

だって、わたしは金曜日の帰りのバスの中が一番好きだから。明日は休み。つまらない学校行かなくてもいいんだぜひゃっほう！！
みたいな。

休みはカウントダウンみたいなものだと思う。

じりじりと確実に迫ってくる平日が、わたしは怖い。月曜日に乗るバスが大嫌い。逃げられない5日間が怖い。怖い怖い怖い！
だから休みは好きだけど、嫌い。矛盾してるのは分かってます、でも嫌いな。大嫌いな。

シルバーウィークなんて、まるでカウントダウンそのものじゃない。爆破まで五秒前！

あ、今日は友達と遊んできました。こんなわたしにだって、友達いるんです。

教室じゃないからとでもくつろげた。いっぱい笑った。楽しかった。明日も遊ぶ。違う子とだけど。ああ疲れる。でもありがたい。

幸せだと思う。友達がいることは、奇跡だ。

こんなわたしを同等に思ってくれるみんな大好きです。どうか見捨てないで。

みんながいるから、わたしは見栄をはれるんです。

みんなのためなら馬鹿になるよ。いじられキャラにもなるよ。

みんなの足手まといになりたくない。だから可愛い服着ようと頑張るよ。わたしのせいでみんなの評価下げたくない。絶対、そういうことだけはしたくない。

弱音はふぎけながら言うよ。だから真に受けないでね。流してね。

スルースルースルー。わたし、頑張ってるから。

心配しないでね。

同情しないでね。

それが一番傷つくんです。

みえっぱり

あつという間にシルバーウィークは終わり、忌まわしき学校は文化祭です。

中学の頃は、高校の文化祭をとても楽しみにしてたのに一体どこで間違えちゃったのだろう。

ああ憎い。過去の能天気な自分が憎くて仕方ない。

馬鹿な高校にはあつち系がいっぱいいるに決まってるじゃない！

一日でいいから過去に戻りたい。戻って、過去のわたしに違う学校を志望するよう説得してと友達に頼みたい。

高校生になって、そんなことばかり考えています。暗い理想、というのでしょうか。

先生としての思いやりが無い担任が変わらないかな、とか、一年生全員わたしより暗い子にならないかな、とか、自分の嫌いな子が恥ずかしい思いをしないかな、とか。ほんと、そんなことばかり。そんな自分が大嫌いです。大嫌い。

あ、話戻しますね。今日、文化祭だったんです。

インフルエンザの影響で一般公開が中止になったのに校内校内はするそうです。しかも二日間。けっ。

午前中は、ほとんど屋上に続く階段にいました。

あそこ落ち着くんです。人の目がなくて、のびのびできる。ほんとうに、のびのびできるんです。

景色も綺麗です。今日は、どこかのおじいちゃんが庭の花に水をやっていました。うらやましかったです。ああいう穏やかな生活を送

りたい。一人でもびくびくしないでいい生活をわたしは送りたい。
午後はお化け屋敷のお化け役でした。裏方の方がいいよね、とクラ
スメイトが気を回してくれたので。

ああ疲れた。あまりの疲労に、どうしたらいいか分かりません。

こんな情けない話、知り合いにはとても聞かせられない。わたしは、
こんなに考えてちゃいけない。いけないんです。そういうキャラだ
から。

泣きたいよう。わんわん泣いて悩みをぶちまけたい。知り合い以外
なら誰でもいいから、うんうんって頷いて聞いてほしい。それだけ
で、わたしはきつと救われると思うんだ。

ギリギリだよわたし。ギリギリのところを保っています。

もしもわたしが、刑事ドラマのクライマックスで海岸の絶壁で包丁
持って

「来ないで！」って刑事を脅す犯人だったら、海に飛び込まないで
刑事の胸に飛び込むと思う。しにたいと思うけど、今は実行する気
にならないんだ。

さつき、ハサミを手首に当ててみました。当てただけで、切っては
いないけど。

わたしはきつと、これからもっともつと嫌なことがあっても、
リストカットはしらないと思います。

傷痕は、情けない証拠になるからです。本気で病んでいるんだ、っ
てすぐ分かってしまうからです。

もし切っても傷痕がつかないなら、わたしはきつと左腕をずたずた
にしているんだろうけど。

中途半端だわたし。中途半端だから、精神がおかしくなっているの
か分からない。

社会から見て、わたしはどう映っているのだろう。

わたしは正常でいたい。異常って思われたくない。でもそれ以上に、

わたしの近くににいる人を異常って思わせたくない。それが一番怖い。だから、人と話してもある程度の距離は離れていました。自分からは滅多に話しかけませんでした。

今思えば、それがいけなかったのかも。壁を感じさせちゃったのかも。

ははは失敗。

学校生活を思い出すと、ごめんなさいと呻いてしまいます。後悔がいっぱいです。

ああすればよかった、ああ反応すればよかった、ああ冗談言えばよかった。

たくさんの後悔で押し潰されそうです。

でも頑張らなきゃ。わたしは頑張らなきゃいけない。

早く三年経たないかな。

卒業したい。卒業したい。卒業したい。卒業したい。

ああ卒業！ わたしは卒業に恋しています。

一人になりたい。

遠くにいきたい。

あんな奴らの顔なんか見たくもない。

しにたい。

でも頑張らなきゃ。

わたしは頑張らなきゃいけないの。

それがわたしだから。

あと2年と5ヶ月

もう辛いことや情けないことに耐性がついてきました。少しずつ、本当に少しずつですが。

わたしに溜め込んだものを吐き出すことはできないけれど、お風呂で本を読んだり、音楽を聴いたり、二次創作をしたりして、何とかストレスを癒そうとがんばっています。

自分なりの癒し方を探しています。

二次元は好きです。

学校の教室やクラスメイト、なにより情けない自分を想像しなくていい。好きなキャラクターを好きなように動かせばいい。

「現実逃避」なのは分かってます。だけど、逃げ場が無いとわたし学生していきません。やってらんないよ。

そんな風に逃げてばかりだけど、わたし、いっぱい考えてます。お風呂入ってる時や、寝る前に。

大抵、嫌なこと思い出して、その後に楽しいことを出来る限り考えます。情けないけど、自分を救おうと頭の中でたくさん考えます。でも、やっぱり自分を見つめるのは辛いです。胃の辺りがぐにゅぐにゅと気持ち悪くなります。

だから夜更かします。ギリギリまで起きて、電気消したらすぐ寝れるようにしています。それでも無駄な時は無駄なただけだね。

嫌いです。情けない自分、思いやりのない生徒だいきらいです。みんなみんないなくなれ!!

どうして同じ年なのにわたしを見下すのだろう。

わたしがガキだからかもしれないけど、背の低い子に見下されるのは屈辱と想ってしまいます。

わたしはおかしいのかな。

おかしいから見下す人がいるのかな。

疲れた。疲れたけど頑張らなきゃ。

先輩が羨ましい。あと5ヶ月で卒業できるだなんて羨ましい羨ましい！

わたしはそれに2年も上乘せされてるんだよ。

ああ疲れた。

早く卒業したい。

思い出なんかいららないから卒業したい。

初めて

高校生になり、初めてわたしのことが嫌いだと意思表示されました。それも多数。

まあ、嫌われて当然です。だって、わたしなんだもんね。

わたしは、よく誤解されます。無意識に、嫌がらせみたいな行動をしてしまうのです。

例えば、机から落ちた制服のリボンを拾ってもらったのにすぐ落としたり、「ごめんね」と謝ってくれた子の足を踏んだり、色々あった子が昼食の際に使っていた椅子を使ったり……思い出したらキリがないです。

わたし、そんなつもりがないのに。嫌ってるわけじゃないのに。嫌われたくないのに。嫌われたくないのに！

わたしががんばってるよ。

いっぱい笑顔振り撒いているよ。同じ年なのに、めっちゃくちゃ気を使っているよ。すごい情けなくて屈辱的だけど、わたしががんばってる。

高いバス代を出してくれる親のために、勉強がんばっているよ。成績良くしようとかがんばってるよ。

なのになのになのに！

わたしはあなたを嫌ってなんかいない！ だからわたしを嫌わないで！ 冷たい目ですれ違わないで！

冷たい。

どうしてこんなに高校生活が冷たいの。先輩が冷たいの。同級生が

冷たいの。

名字にさん付けだなんて冷たいよ。

○○さんって、冷たいよ。

学校嫌い。だいきらい。

できるなら休みたい。不登校したい。退学したい。

でも、できないんだ。親に迷惑かけちゃいけないの。家の面子を潰しちゃいけないの。

「○○の娘、高校退学したんだって」

考えただけで鳥肌立ちます。お父さんの怒声、お母さんの必死に庇う泣き声、近所の冷ややかな視線、噂。

怖いです。人間って、逃げられないんですね。社会から逃げられないんだ。

だって、逃げたら人間じゃないもんね。そりゃそうだ。

とりあえず、これからもがんばります。

がんばらなきゃわたしじゃないもんね。ファイト、ファイト。

どうか誰からも嫌われないように、あの人たちと関係が修復されま
すように。

楽しい生き方

テスト期間です。明日、中間検査二日目です。

わたしは一夜漬け派なので、かなり辛いのですが、テスト期間はとも好きです。本当に辛い掃除をしなくていいし、なにより早く帰れる。

こんなご褒美はなかなかありません。テストは嫌いだけど、本当に助かってます。ありがとうございます！

さて、前に日記に書いた通り、わたしは人に嫌われたわけですが、やはりそういうオーラをびんびん感じています。

正直、シヨックです。でも、今の自分に誤解を解く勇氣は持っていません。

情けないんですわたし。

へこへこ頭は軽いし、ビクビク人に怯えているし、なのに図々しいし、もうわたしのいいところなんて何もありません。

だから、こんなわたしに友達がいるのは奇跡なんです。 ちゃん、

○○（あだ名）で呼ばれるのは奇跡も同然なんです。本当に幸せ者です。

今考えれば、どうやって友達ができたのか分かりません。どうやって○○ちゃんって呼び合ったのか、もう忘れてしまいました。

今日、父が「定年になったら旅行へ行く」と言いました。

車で、奈良へ行きたいそうです。他にも、色んなところへ行きたい

と。

羨ましいです。ちゃんと、楽しい生き方を見つけている。

疲れた疲れたと言いながらも、きっちり仕事を勤めてきた父です。どうか、幸せな老後を過ごしてほしい。

そうしたらきっと、母とのわだかまりも無くなると思うんだ。

わたしも、楽しい生き方を見つけないです。

重症

明日は校外学習です。

ああやだな。憂鬱だな。

軽く言ってるけど、ほんとうに憂鬱なんです。

なんかこう、嫌な重りが頭と胸にずっしり乗っかっている不快感ですよ。明日が終わらないと治らない病です。こりゃ重症だ。

「班別行動」って、いやな響き。大嫌い。大嫌いですよ。

どうして女の子ってこんなに面倒くさいんだろう。みんなお腹の中を隠して、少しでも友達の見聞を増やそうと親しげに話すんだらう。

女の子って面倒くさい。なんでわたし女の子なの。男の子がよかった。

でも、そんな贅言言ったらけません。こんな学校生活送っていても、生まれてこなければよかった、だなんて一度も思ったことはありません。しにたいとは思ったけど。

お母さんありがとう。お父さんありがとう。おばあちゃんありがとう。わたしが生まれる前に亡くなってしまうたけれど、おじいちゃんもありがとう。あんまり会話しないけれど、お兄ちゃんもありがとう。みんなみんな大好きです。

こんな奴と友達になってくれたみんなもありがとう。

わたしなんかには勿体ないくらいみんな可愛いんだ。それで心も同じくらい素敵なんです。思いやりって大切ですよね。

そしてこの日記を見てくださるあなたにも感謝しきれません。

こんな惨めな奴もいるんだ、と、どうぞ見下してください。誰かよ

り優位な立場にいると思えば、人は胸を張れるんだと思います。こんなわたしが言ったって、なんの説得力も無いんですけどね。

いつかわたしも胸を張れるようになりたいです。

笑いながら暴言（冗談）を吐けたり、心からの爆笑ができたり、おはようバイバイの挨拶がしたい。

これからも、同じようなことばかり書くと思います。でも、本当に周りの方々には感謝しているんです。してもしてもしきれません。綺麗事じゃなくて。

とりあえず明日、がんばります。

班別行動、わたしを嫌っている人たちと一緒になんだ。

正直に言うとは嫌です。あの冷めた視線が嫌なんです。

でも、わたしなんかと一緒になっちゃったんだから、向こうの方がもっともつと嫌な気持ちでいるんだろうな。うん、絶対。

だからわたし、明日はお腹の中を隠して目一杯愛想笑いを振り撒いていかなきゃ。きつと向こうもそうだから。

面倒くさい。女の子ってほんと面倒くさい。でもがんばらなきゃ。

がんばらないとわたしじゃないんです。

ファイトだわたし。

きつと明日になれば重りも取れるよ。

強気なわたし

日曜日ですね。

でも（いつも通り）予定がぼっかり空いたので携帯ぼちぼちしています。

なんかね、割り切るようになりました。

わたしのこと嫌ってる人たちは、もうあんなに嫌ってるんだから仕方ないって。

相変わらず感じる冷たい視線。ちよっぴり怒りが含んだ話し方。分厚い壁。

ああ、嫌われてる。

でもいいや、と。

「君に届け」という少女漫画の主人公、爽子って知ってますか？

あの子ね、友達のために誤解を解こうを頑張ったんです。すごいですよ。

陰気な子って設定なのに、あんなに勇気振り絞るんだもの。羨ましい。わたしもあんな勇気があつたら。

といつつ。

やっぱり漫画の世界なんだから、と冷めた目で自分がいたりします。嫌な奴。

わたし、高校生になってから幸せな学校生活を描いた漫画は苦手になりました。

特に少女漫画。自分もあんなだったら、と羨んでしまいます。つまり嫉妬。嫌な奴。

わたし、高校生になってから人格変わった気がする。
中学の友達と再開した時、

「○○ちゃん変わらないね」

と言われましたが、ノンノン。わたし、中身がずいぶん変わりました。情けなくなりました。

そんな自分嫌い。大嫌い。

優柔不断で、自分の中にちゃんとした芯がなくて、ほんと情けないと思う。

わたしの一番の親友（ただの片思いかもしれませんが）は、わたしとは正反対な人間なんです。

ややこしいから、勝手に名前つけちゃいます。

「みどちゃん」

あの子緑色好きだから。

みどはちゃんと「自分」を持っています。好きなものは好き、嫌いなものは嫌いときちんと言える子です。

わたし、それってすごいと思うんです。

何気ない会話で、

「○○って可愛いよね」

と言われたらわたし、

「あー可愛いよねー」

ってそんなこと思ってもいないのにそう返してしまいます。

波風立てないために、そういうことは必要なかもしれません。相手に合わせるって。

でも、そのために咄嗟の小嘘を繰り返していたら、「自分」はなんなのかと人格が揺らぐ気がしてならないのよね。何故か。

いちいち細かいなあわたし。嫌な奴。こんな奴とつるんでいたら面倒くさいっいたらありゃしない。

あ、話戻しますね。
わたしが嫌われてるって話。

ああいう人たちに、こんなにも嫌われてるんだから、わたしにも思い当たる節があったりします。当たり前か。

だけど、その出来事はやっぱり誤解で、わたしは全く悪口なんて言っていないです。言い訳にしかならないのですが。

ただ、ひそひそ話な体制だったのが気に入らなかつたんだな。そしてたらごめんね。大声で話すべきだった。

でも、やっぱり嫌がらせみたいなの、嫌みを含んだ言動は傷つきます。足蹴ったの、わざとじゃないのに。

あ、またややこしいので、名前つけてみます。

わたしを特に嫌っている、仲良し二人組。

梅さんと、松さん。

わたし、松さんの足を蹴ってしまったのです。

で、わたし嫌われているでしょ。謝っても、ただのイヤミじゃないですか。

だから、気付かないフリしたんです。それもひどい行動なんだけど、わたしは咄嗟の判断でそうしました。

そしたらね、蹴られた松さんじゃなくて、梅さんが

「いつてー！」

って大声出したんです。

痛かったらごめんね。

謝んなくてごめんね。

でも悲しい。わざわざそんなことしないでいいじゃない。それで気が済むのなら、別にいいんだけどね。

そんなことが二週間くらい続き、誰にも相談しなかったわたしが勝手にたどり着いた結論。

「まあいいや」

情けないわたしにぴったしな結論ですね。あっぱれ。

でも、そう割り切ったらずいぶん楽になりました。

例えるなら、胸の奥がスツとする感じ。肩の荷がおりる感じ。プライドをかなぐり捨てて真っ裸になった感じ。

ああ楽チン。

逃げたらとても楽になりました。

嫌がらせ？

どんどこい。

わたしは嫌われている。

わたしは誤解を招きやすい。

わたしは友達少ない。

上等ですよ。

ぴしゃーん！と割り切ったので、最近のわたしは強気です。心の中だけです。筋肉ムキムキです。

卒業したら、卒業アルバムなんか燃やして灰にしてお花の肥料にしてやりますとも！待ってる卒業！

たぶん明日、中間考査の成績が返ってきます。

結果は伝える勇気がでたら暴露したいと思います。

とりあえず、オーラルがひどかった。

てなわけで。

珍しく強気なわたしでした。調子に乗ってごめんなさい。

おかえりネガティブ（前書き）

昨日の夜書いたものです。

おかえりネガティブ

「どうしたら誤解を招かないようになりますか」

今、わたしが一番知りたい問題です。

でも、二次関数だとか、水平投射の公式だとかそんなのとは違い、この問いには曖昧な答えしか無いんですよ。当たり前か。

数学や理科じゃないんだから、人それぞれに、十人十色の答えがあるんですよ。きつと。偉そうなこと言っでごめんなさい。

そもそも答えなんてあるのかな。

道德の授業みたいに、綺麗事つらつら並べればハナマルのかな。

「まずはきちんと話し合うことが大切だと思います」

小学生の気分になって考えてみました。なんだこれ。

全く解決方法になってないじゃない。情けなくて、勇気を持ってないわたしにはそんなことできないの！

そんなに親しくない人と話すのはすごい苦手だし、親しかったのに少し会話をしなかったただけでもう人見知りしちゃうの！ わたしはそんな人間なの！ そうなっちゃったの！

でも、何も話さないでいたら友達はできませんよね。

初めの一步。これ重要。

入学式から、もう友達戦争は始まっているんです。

それを分かっていたのに足元を見ていたわたしは大馬鹿者。ほんと馬鹿。救いようのないアホ。

わたし、これでもがんばっているんです。

話を無理やり合わせたり、無理やり笑ったり。

そんな自分を、頭の奥底にいる冷たいわたしはいつも見下ろしていません。

最近、自分の人格が分かりません。

わたしって、どういう人間なんだろう。温かいのか、冷たいのか。

人見知りして、媚び売って、声質が変わってしまう自分を後になつて悔いるわたしと、同じ年に話しかけられて嬉しがり、あんな行動をとるわたし。

どっちが本物なの。

どっちがわたしなの。

もう、何がなんなのか、さっぱり分かりません。

いっぱいいっぱい考えて冷静になろうとすると、今度は第3のわたしが出てきそう。うわ嫌だ。

もう勘弁して。二人だけでわたしは精一杯なの。

喋らなければ暗い子と距離を置かれ、でしゃばればウザイと白い目で見られる。

だったら、どうしろと。

わたしはどう行動すればいいの。

うふふ、うふふって笑って、曖昧に返事をすればいいの？ でもそうしたら相手に伝わりきれなくて誤解を生んじゃうじゃない！

人間関係って難しいです。

そんなの当たり前なのに、改めて気付かされました。人間難しい。

いまだに梅さんと松さんには嫌われたまま。時効も無さそうです。

とりあえず頑張れわたし。

もう11月だよ。あと少しで進級だよ。

ああでも進級したくない。二年生こわい。クラス変えこわい。人間こわい。

来年のこと考えたらこわくて仕方ありません。

でも、まだ何カ月かあるから迷わず現実逃避。二次元へゴー。

とりあえずこわい。

何もかもがこわい。

でもがんばる。

わたしはがんばる。

おかしい

こんばんは。今日もがんばって生きています。

二日間の休日、たっぷり休ませてもらいました。たくさん現実逃避もしました。

だけど、ああ、これで寝ちゃえばまた学校なんだ、と思うと憂鬱で仕方ありません。

やっと一日が終わっても、寝ればまた一日がやってくる。やっと学校から解放されたんだと思ったら、また学校へ出向かなくてはいけない。

一体いつになったらわたしは卒業できるんだろう。あんな奴らと離れられるんだろう。

でも、こんなのは贅沢な悩みです。

世の中には、勉強したくてもできない人、明日を迎えられない人がたくさんいるんです。わたしは恵まれている。満たされた今の環境に感謝するのが普通だ。できないと親不孝者だ。

だから、わたしは親不孝者です。

今の環境を苦に思うわたしは贅沢者で、もしかしたら異端者かもしれない。

学校から帰り、夜になれば寝て、起きたら朝で、学校へ行かなくてはいけません。わたしには、それが早く寝たら寝るだけ学校へ出向く時間が縮まる気がするんです。睡眠は学校への近道！ みたいな。なのでわたしは、毎晩夜更かしをします。

前に書いたとおり、すっごく眠いと考え事しないで寝られる、とい

う理由で夜更かしもしますが、最近ではこっちの理由の方が大きかったりします。一度ふつきれたので、それからは考える作業がある程度ほったらかしにしているからです。

逃げたら、本当に楽になりました。

そんなことしたって、いずれは壁にぶち当たるのに、でも楽だから今は逃げています。

傷つく言動は無かったことにしています。時々思い出すけど。

人を平気で傷つける人は苦手です。

本当のことを言うと、嫌いです。大嫌いです。

なんで楽しそうに見下すんだろう。笑って、しかも大声で悪口を言うんだろう。

傷つける人がいるってことは、傷つく人もいるってことに気づいてほしい。それでも学校に通い続ける人に追い討ちをかけないでほしい。同じ年なんだから。

と、わたしがここで偉そうに言っても、クラスメイトには伝わらないですよ。伝えるには、教室で、大声で、はっきりと言わなくちゃいけない。

でもわたしにはできない。そんな大それたこと、絶対できない。

なんてふがない。なんて情けないんだ、わたし。

そんな自分が大嫌いです。だいつきらい！

それと、わたしはバスのアナウンスも苦手です。

正確に言えば、いつも降りるバス停の名前をアナウンスする瞬間です。

うわ、学校に着いた、と。

バス停から学校まではそれなりに距離があって、降りた場所から校

舎は見えないのですが、あのアナウンスがどうしても駄目です。学校というものに、現実味を持たせるんですよね、あれ。

「おら学校だぞ！」

と、背中を押されるような感じです。表すなら。

だから、聞くと憂鬱になります。耳を塞ぎたくなります。本当に苦手なんです。

そんな風に思うわたし、やっぱりおかしい。

冷静に自分を見つめると、どれだけ幼稚で、情けないかよく分かります。

どうしても自分が好きになれない。よくこんな奴がふてぶてしく育ったと思う。

もう少しだけ自信が欲しいです。これ以上、情けない思いはしたくない。そろそろ自分の部屋の中で暴れだしそう。

時々、想像するんです。

わたしはベッドの上で、低反発まくらをばんばん叩きつけて、わんわん泣いて、叫んで、本棚につまった本たちを引っ掻き出すんです。想像すると、胸が熱くなります。心臓がドッ、ドッ、と高鳴ります。どうしようもできない鬱憤が弾けそうになる瞬間です。すぐにおさまるけど、いつかは晴らしたいと思う自分は変です。おかしい。

いつになったらこの悩みをぶちまけられるんだろう。

自分が悩んでいること、考えていること、全部ぜんぶ打ち明けたい。たくさん泣きたい。

ケータイのボタンに八つ当たりするだけだなんて、虚しすぎる。

でも、そんなのは贅沢な悩みです。こっぴどやって日記が書けるんだから。

明日もがんばります。めっちゃくちゃがんばります。
バスのアナウンスも、しっかり受け止めます。

ファイトだわたし。

もうすぐ楽になれるよきつと。

わたしの進路（前書き）

一 昨日の夜書いたものです。

わたしの進路

最近、自分の進路に悩んでいます。
あんまり深く話すと身元がバレそうなので怖いのですが、真夜中の
テンションを借りて全部吐いてみようかなと。

わたし、今のところは介護福祉士になりたいんです。
中学のころ、老人を介護するとある所へ職場体験をしたんです。総
合学習の一環で。

わたし、思ったんです。

あ、この仕事いいなって。

元々、おじいちゃんおばあちゃんが大好きだったので、そんな方々
に囲まれて、しかも親切に助けることができることにとても魅力
を感じました。

だけど、中学のころはそれほど将来のことに感心はなくて、ただぼ
んやり憧れを抱くぐらいでした。

それで、高校生になった今、自分の将来を具体的に決めようと悩ん
でいます。

専門学校か、就職か。

親の立場になれば、就職を選んで欲しいのだと思います。進学はお
金かかるし。

ずっと前の話、兄がこの短大に行きたいとお父さんに短大のパンフ
レットを渡しました。

お父さんは心良く賛同しましたが、自分の部屋に戻り、机に置いた

パンフレットを見て溜め息をついたのを、わたしは偶然見てしまいました。

いつか話したいのですが、お父さんとお母さんは金銭問題でたびたび喧嘩（みたいな言い合い）をよくするんです。

だからわたし、就職しなきゃって思ったんです。しなきゃ二人とも困るんだって。思ったんです。その時は。

でもやっぱり、介護福祉士になりたいんです。

人に深く関わる仕事だから、とても大変な仕事なんだって分かってるんです。憧れなんかで勤められる仕事じゃないんだって、分かってるんです。

少しか本を読んだのですが、資格を取らなくても福祉関係の仕事に就けれなくはないそうですが、資格を持っている方が望ましいんだとか。

だったら、二年間勉強して、がんばって資格取って、ずっと福祉の仕事をしていきたい。老人を助きたい。

自分の人生は一回しかないんだから、少しでもいいものになりたい。好きなことだけをするのがいい人生、ではないと思うんです。でも、つまらない、どうでもいいような仕事をしたいとは思えない。わたし、わがままなんです。お父さんお母さんごめんなさい。

わたし、高校は自分勝手に決めました。本当にくだらない理由で。その所為で学期ごとにクソ高い定期代を払わせているだなんて、本当、両親に申し訳ないです。こんな馬鹿な娘でごめんなさい。

だから、少しでもお返しできないか、と成績を上げようとがんばっています。中学のころはほとんどしなかったテスト勉強も、今は自分なりに必死にやっています。

それでも、両親にかける負担に敵うはがありません。

そんな両親に、またわたしは迷惑かける気か。

そんなに迷惑かけてまで介護福祉士になりたいのか。

もう、よく分からないんです。

実は、みども介護福祉士を目指しています。

前に少しだけ将来について話したのですが、

「本気になったら話してね」

とみどは言いました。

本気なんです、わたしは。

でも、胸を張って言えないんです。

親に迷惑かけたくない。

だったら、奨学金とか、まずは就職してから勉強するとか、いろんな策を考えるのですが、やっぱり知識が無きゃ話にならない。

みどに相談しようかな。

でも、いつみどに会えるんだろう。

月に一回くらいしか会えないんです。さみしい。
違う学校だからしょうがないことなただけだね。

とりあえず、寝ます。いい加減ねむいです。

明日（正しくは今日）、髪切りに行きます。おかつぱにならないことを祈るばかりです。

おやすみなさい。

ストーカー疑惑

最近、疲れています。

どん底に突き落とされたくらいに嫌なことは無かったのですが、なんか、小さなことが少しずつ積み重なって、あれ、なんか疲れてるぞ、って。気がつけば溜め息をつきたくなるような感じなんです。いま。

わたし、もしかしたらストーカーだと誤解されているかもしれない。

名前つけちゃいますね。

和歌さん。

とても綺麗な子です。

出席番号、和歌さんの次がわたしなんです。

だから、集会か何かで並ぶ時は必然的に和歌さんの後ろなんです。けっこう気軽に話してくれる人で、〇〇（わたしの名前）って呼び捨てで呼んでくれました。

めちゃくちゃ嬉しかったんです。ほんとうに、嬉しかったんです。

でも、いつだったかな。

なんかね、和歌さんって、バツと振り向くクセ（？）があるんです。それで、後ろにいるわたしは慌てて視線を時計とかに移すんです。うまく言えないんですけど、集会の時とかって、どこを見ていてい

いのか分からないんだ、わたし。

だから、いつも前の人の背中らへんを見ているんです。

でも、振り向かれたら、気まずいじゃないですか。

まさか、会話してないのに背中とか自分の身体を見られていたら気持ち悪いじゃないですか。

そう、わたしは思うわけです。びくびく人に怯えるわたしは。

あからさまに、視線を逸らすんです。それしかできないんです。

たかがこんなこと、と思われてもしょうがないですね。

わたしだって、これを書いていたら、なんでこんなことで悩んでんだ、って思いましたもん。

でも、廊下とか教室とかで、よく目が合うんですよ。

すんごく気まずそうに、合うんです。

なんで視線の先に和歌さんがいるんだよ。

と、わたし、勝手にうんざりしていました。とことん嫌な奴だな。でも、誤解されたらと思うと嫌だったんです。

そしたら、案の定ですよ。

この前、教室の後ろのところで、和歌さんとすれ違ったんです。そしたらね、

「すとおかあ」

って。

とても小さな声で、軽い口調で、そう言ったんです。

わたし、みみつんばだから聞き間違えたのかもしれない。でも、確かにそう聞こえたんです。

そう言われた後も、たびたび話しかけてくれたり（といっても雑談ではなく学校関係の質問とか問題の答えとか）してくれたのですが、呼び捨てではなくまりました。

○○ちゃん、って、気がつけばちゃん付けでした。

少し、寂しかったです。ただの贅沢な感情なんだけどね。

もし、ほんとうにストーカーだって勘違いされていたらやだな。嫌わていたらやだな。すつごくやだな。ほんとうに、ほんとうにやなんです。

わたし、これ以上誤解されたくなくて、つい意識しちゃうんです。和歌さんのこと全然意識してないよ、って意識しちゃうんです。あれ、ややこしいな。

これ、すつごい悪循環ですよ。

ストーカーって言われて、意識しないよう努めて、神経はりつめて、

だから目が合うと大袈裟な反応して、また誤解されて。

なにやってんだろう、わたし。馬鹿じゃないの。

ああもう、面倒くさい。

人間関係って面倒くさい。

保育園の時みたいに、何も考えずに遊ぶことってできないのかな。嫌わてるじゃないか、って人を疑わずにいられないのかな。

疲れたよほんと。

ああもう愚痴ばかりでごめんなさい。

今日、なんだか頭痛いです。風邪でも引いたのかな。熱出たらどうしよう。

学校休めるのは嬉しいけど、今は期末テスト前だし、正直困る。

みどね、新型インフルエンザだったみたいです。もう治ったらしいけど。

わたし、そんなこと全然知りませんでした。学校が違っただけで、こんなにも遠くなるんですね。

どうか、みなさまもお気をつけ下さいね。

インフルエンザって、すっごく辛いんですよ。熱が馬鹿みたいに上がるし。

今日は早めに寝ようかな。

明日は学校だから、がんばらなきゃいけないもんね。

うん、がんばれがんばれ。

もう少しで冬休みだよわたし。

ファイト、ファイト。

あ、いま熱計ってみたら、37度2分でした。

どうかこれ以上あがりませんように。

ムカムカ

ああもう！

むかむかします！

ここまでムカムカしたのは久々ですよ。むかむか。

なんなの？

なんでバスの中でわたしの名前を出すの？
しかもフルネーム

わたし、何かした？

何かあなたにした？

何もしてないでしょう。

あなたと話したことないし、あなたの話題出したこともない。なんにも、なんにもしてないんだよ。

なのになんでわたしの名前を言ったの？

わたしの名前を出すまで、なんの話してたの？

○○○○（わたしの名前）は、なに？ なんて言おうとしたの？
続きは？

わたしの名前出した後、

「やべ」

って言ったよね。

わたしの存在に気付いてなかったんでしょ。

しかもわたしに気付いても、本当にわたしなのか分からなくて、何
度も確認してたよね。

「え、マジ？」

「え、だよね、うわやべえ」

寝たふりしてたけどさ、わたし、起きてたんだよ。起きてた。

そこにいたんだよ。

気づいてよ。

わたしの存在に気づいてよ。

わたしの名前出さないでよ。

話題にしないでよ。

お笑い草にしないでよ。

すっごく傷ついた。

久々に腹が立った。

気づかなかったあなたと、気づいても何も言うことのできないわたし。し。

どっちにも腹が立った。ムカムカした。

こういうことがあると、大抵いやなことが続くんですよね、わたし。もうチマチマした不運か出来事が今日いっぱいありすぎて、なんかもう、いや。

なにもかも、いやになった。

明日はテストです。

でもなんか、どうでもいい。

がんばらなきゃいけないのに、やる気の出ない自分に腹が立つばかりです。

ほんとにこれどうしよう。

思い出したらまた腹が立ってきた。もういや。

枕ばんばんしてこよう。

うんそうしよう。

さようなら。

2010年

久しぶりの日記です。

ほったらかしのままですみませんでした。

もう2010年ですね。

これといった近況報告は無いのですが、11月と12月はあつという間でした。

たぶん、だいぶ学校生活に慣れてきたのと、嫌なことに対して考えるのをやめたからだと思います。

大きな行事も無かったし、比較的楽でした。

でも、1月と2月はとんでもなく長く感じるかもしれせん。

掃除場所が苦手なところが変わったからです。

昇降口と、教室前の廊下。

特に廊下。大嫌いです。

以前に、廊下になったことがあります。

その時、掃除する人はわたしだけでした。他の子は、みんなサボっていました。

それで、掃除をサボる人は、大抵廊下に集まるんです。

そしたらね、掃除する人って目立つちゃうんです。

だからわたし、少しでも不真面目に見られるように、壁にもたれて、気だるそうにほうきを動かしてました。

だけど、そんなんじゃないや間が持たなくて、何故か壁に刺さってた画ビヨウをいじってました。

抜いたり、刺したり。

そんなことをしている間、わたしは後ろを通る生徒の視線が気になる。仕方ありませんでした。

廊下の砂ぼこりを掃除し終わっても、掃除の時間はまだ終わりません。

教室も、まだ机を並べ終わっていない。

15分間、たったこれだけの時間なのに、わたしは掃除があると思っただけで学校に行くのが憂鬱でした。放課後になるのが怖い。

どうやったらあの15分間を潰そう。

いっそ掃除の時間だけ早送りできればいいのに。そればかり考えてました。

そんな廊下掃除が、2月にまたわたしの班の分担になります。

また画ビヨウをいじってるのかな、

時計を何度も見なきゃいけないのかな、

また時間を潰さなきゃいけないのかな、

あの情けない自分をまた生徒に見せなきゃいけないのかな。

どうしよう。怖い。

怖い怖い怖い！

きつと、誰も助けてくれない。

誰もわたしに近づかない。

わたしと同類って思われるから。

でも、わたしは頑張るよ。

あと2年と2ヶ月ちよつと。

わたしは頑張れる。

2009年のわたしはたくさん失敗して、たくさん頑張った。

だから2010年のわたしもきつと頑張れる。

掃除なんて、たったの15分だ。

それくらい、わたしなら頑張れるよ。

久々（前書き）

先週書いたものです。

久々

休みを挟んだからでしょうか、最近、すつごく情けなくなりました。人への対応が、ぎこちないんです。声が上擦って、ひきつった笑顔がうまく戻せないんです。

あ、今のはこう返すべきだった。今のは話に加わるべきだった。今なんで敬語になったんだ？

久々の後悔です。

後々から、頭の中で大反省会。だけど、どんなに反省しても、鬱々とした気分が悪化するだけなんですけどね。

それでも、気がつけば無意識に始めてて、そこで止まらないから不思議なんだ。

よっぽど面倒くさい体質なんだね、わたし。

中学の頃の方が、よっぽどマシだったと思います。

学校生活も、わたしの人見知りも。

思い返すと、中学の頃は友達の幅が広がった。今に比べれば。

冗談を通じる余裕があったし、なにより一人になっても不安にならなかつた。

わたしには友達がいるから、あえて一人でいるんだ、みたいな自信があつたんでしょうね。

もしくは、単純だったのかもしれませんが。

中三の夏に、やっと小学生気分が抜けたくらいですからね。

高校生になって、わたしが一人で悶々と悩む大反省会の時、よく

<中学の自分だったらどう対応するか>

と考えます。

そして、それを参考にしています。

でも、これはいいことなのか良く分らないんです。

中学の自分を参考にすることは、わたしは前に進まないで、後ろに下がってるってことなんじゃないかなあって。

もしくは、中学の自分より情けなくなつて、それを必死に追いかけてんのかなあって。

わたし、言われると一番傷つく言葉が二つあるんです。

「被害妄想」

と、

「恥ずかしい」

これを言われると、外面では笑って流しますが、内心めちゃくちゃ傷つきます。

どの言葉も、それぞれトラウマになった出来事の際に言われたやつなんです。

いつか強くなりたいです。

何言われても顔に出さないで、一人でいても平気でいられるようにしたい。

大人になりたい。

大人に囲まれない。

もう同級生はたくさんです。

今日は徐々に気持ち悪いです。

胃がぐにゅぐにゅしてて、心臓がどくんどくと跳ねるんです。

気持ち悪い。気持ち悪い。吐き気がする。

泣いたって全然落ち着かない。

こうやって文章にしても不安な気持ちがおさまらない。

明日は一人。

一人はやだよ。怖い。

ぐにゅぐにゅ気持ち悪い。

でも寝なきゃ。

たくさん寝て、がんばらなきゃ。

きつといつか、二学期の後半みたいに慣れてくるから。

ぐにゅぐにゅもおさまるから。

もう少した。

がんばれわたし。

明日はいつもと同じ24時間なんだから。

がんばれ、がんばれ。

掃除って辛いわ

辛いです。

やっぱり二月の掃除は精神的にきつすぎます。

誰もいない。わたしの周りに誰もいないんです。

同じ年でも、みんな他人なんだなと思いました。

クラスが違つと、名前はおるか顔も知らない。

だから高校は怖いんです。

知らない人たちばかりで、すごくすごく怖いのに、同じ中学の子がいるからなるべく情けない姿を見せたくない自分がいる。

だから見栄を張ろうと頑張つて、肩の力を入れすぎて空回りする。

保育園から一緒に、たくさん遊んだ子は髪型を変えてました。

たまに話しかけてくれるけど、わたしは今まで通りに接しなきゃと必死こいて、また空回り。

あんなに情けない思いをして、怖くて、疲れて、なのに友達できないなんて、学校行く必要があるんですかね。

勉強以外に、わたしは何を学んでいるんですかね。

一人でいる時の過ごし方？

それとも反感を買わない声の出し方？

探すものは無いのに鞆を漁つたり、

探すものは無いのに机の中を漁つたり、

勉強したく無いのにワークを開いたり、
尿意があるわけでも無いのにトイレに行ったり、
眠たいわけでも無いのに机に突っ伏したり。

出席取る前、裏声にならないように小さく咳払いしたり、
嫌みを含まない笑い声と一緒に返事をしたり、
授業中、先生から答えを訊かれた時に自信持って言わず控えめに答えたり。

こんなことばかり身につけて、何がいいんでしょうか。
こんなこと学ぶためにこの学校を選んだんじゃない！
わたしは、ただ美術が好きで、だから美術が盛んだって聞いたこの
学校を受験したのに。

活動日は週二日、
顧問はめったに来ない、
来てもほとんど指導無し、
準備室が生徒の溜まり場、
そこで顧問が買ったお菓子やジュースを食べたり飲んだりしている。

何なんだろうね。
わたしもやる気無くしたよ。なんかね、どうでもよくなった。
今じゃもう適当に部活動してます。
ろくに絵を仕上げていない。

甘いんだ。
わたし、自分にとことん甘い。

だから友達いないのかもね。
自分の長所をあげられない奴はどうしようもないもんね。

もう少しでいいから自信が欲しいです。

あ、話戻しますね。

掃除の時間が辛いつて話。

少し離れて楽しそうにおしゃべりしている人たちを見ると、情けなさが増します。

ぽつんと壁に寄りかかるわたしは、すごくさみしい奴なんでしょうね。早く卒業したい。

実はね、今日の授業中、とある女子生徒が何かを落としてみたみたいなんです。

そしたら、それがわたしの近くに転がったみたいで、女子生徒がわたしに声をかけてきたんです。

「さんじゃなくて……あっ！ ○○ちゃん、そのボールペン拾ってくれる？」

それに、女子生徒の前の席にいた男子生徒が、

「うわー」

と笑っていました。

もちろん、女子生徒を非難するくわーではなく、明らかに面白がっていました。

あのね、わたしの名前は じゃないんだ。

でも、佐藤でも、田中でもないの。

いい加減覚えて欲しかったな。

いくら地味でも、ボールペン拾ってもらう人の名前を間違えて欲しくなかった。

すごく悲しかった。

悲しかったんだよ。

しかも掃除の時間では、わたしを嫌っている梅さんが独りぼっちのわたしとすれ違う時、目を合わせて笑ってきました。

くすっ。

くすっ。だって！

最近、ちらほら話しかけてくれるようになって、もしかして時効がきたのかなって思ったのに。

くすっ。ですか。

疲れた。もう疲れてしまいましたよ。

あと、二月にする掃除はあと12回でした。数えてみたら。

中学受験で結構休みがあつて助かりました。

でも、その中に大掃除は二回。

その一回目、明日にあるんです。

考えるだけで気持ち悪い。

胃がぐにゅぐにゅ、心臓も痛い気がします。

がんばれも言えない。

言う気力もない。

がんばれと言ったって、今のわたしはがんばれないと思う。

イヤホンで大音量に音楽を聴いたって無意味でした。

明日のことを嫌でも思い出す。

やだな。やだな。すごくやだな。

きつとすごく情けなくて、悲しいことがたくさんあるから。

また笑われちゃうから。

くすっ。

くすっ。

でも、一度くらいは言ってみます。

がんばって。

意味ないだろうけど、明日のわたしががんばりますよっ。

がんばってるのは、わたしだけじゃないんだよ。

笑われたって、いいじゃない。

嬉しい3月

こんばんは。

やっと、やっと三月になりました。なので久々に更新します。

二月の廊下掃除、やっぱり辛かったですね。

一人きりになつた空き時間、教室掃除を勝手に手伝うことの惨めさ。一人で机を並べている時、先生は友達いないんだなと思っていないか、生徒はお邪魔虫だと煙たがっていないか、そんなことばかり考えていました。

もうとにかく、掃除の時間が長い長い。15分つて、本当に長いんです。

1分過ぎるつてとてもすごいことなんです。

わたしは、去年の12月にスケジュール帳を買いました。

初めてのスケジュール帳なので、ぜったい続けよう、と意気込んでいました。

だけど、それは予定を書き込むものではなく、2月の掃除がある日を斜線していくものに変わっていました。

楽しみにしていた友達とのくお好み焼き屋さんへも、掃除が終わると斜線しました。

わたしね、高校生になってから人前で初めて泣きました。

泣いたのはくお好み焼き屋さんへの日です。その日は大掃除でした。その時のわたしは、特に情けない日が続いていたので少しまいって

いました。

でも、友達とのく好み焼き屋さんへは楽しみにしていたので、頑張ろうとは思っていました。

なのにシヨックな出来事がたくさん、本当にたくさん起きてしまいました。

どんなことがあったのかは、早く記憶から消したいので書きません。本当にごめんなさい。

そうして、わたしはS H Rの時には笑う余裕も無くなっていました。帰りはいつものように、クラスと一緒に行動する子と帰っていました。

勝手に名前つけますね。

「じっじ」

保育園から一緒に、髪の毛がさらさらな子です。

わたしは頭では分かっているのに、こっくに話しかけることができません。

「疲れたんだよー」

って一言も言えなくて、こっこの話をただ頷いているだけでした。

わたしが沈んでいる間、こっこは色んなことを話してくれました。

いつもならわたしから話題を出すのに、こっこはこうやってたくさん話す子じゃないのに、ああこっこは気をつかってくれてんだ、とぼんやり考えていました。

そしたら急に泣きたくなくて、喉の奥がきゅうつつとなりました。瞼も熱くなりました。

もう声を出したら終わりだってくらいに、涙がすぐそこまで来てい

ました。

だから、こっくに「うん」と頷くこともできませんでした。学校からバス停まで約一キロなのですが、あと半分つてところくらいで、とうとう涙がこぼれてしまいました。わたしは何だか吹っ切れて、こっくに

「ね、見て。泣けたよ」

と笑ってみせました。

こっちはちゃんと冗談として受け取ってくれたみたいで、嬉しかったです。

すると、後ろから高校でできた友達が駆け寄ってきました。

わたしは急いで涙を拭きました。

そこからはバス停まで三人で一緒に行くことになりました。

わたしは泣いたことがバレたくなかったので、必死に普通通りの自分でいようと勤めます。たぶんバレなかったと思います。

その友達は電車で帰るので、駅で別れました。

すると三人で話している内に、いつの間にか涙が引っ込んでいることに気付きました。

今ならこっくに黙り込んでた理由を話せるかな、と思いました。

「疲れたの」

と、わたしは言いました。

たったそれだけのことなのに、また涙がどんどん溢れてきました。その時のわたし、かなり不細工な顔していたと思います。

だけど、これから楽しみにしてたお好み焼き屋さんなんだし、こん

なことで台無しにしてはいけないと思い、バスに乗るころには泣くのを止めました。

お好み焼き、とても美味しかったです。とっても楽しかった。

こっここには心配かけたかと思えます。本当にごめんね。

でももう、きっと大丈夫だよ。二月も終わったし。もう泣きません。

この前は二ヶ月ぶりにみどと会いました。

中学時代、仲良しだったみんなと集まって遊んだのです。これもすつごく楽しかった。

わたしはまだ頑張れそうです。こんな奴でも。

みんな優しいんです。すごく勇気になります。本当にありがとうございます。

あと少しで一年生も終わり。お疲れ様。

来年の一年生は、少しでもわたしみたいな人がいなくなりますように。

幸せ幸せ幸せ！

久々に更新です。

気がつけば1年生が終わり、もう2年生です。

わたしは今年から進学クラスを希望して、一応入れたのでホッとしました。

同じ学校で仲の良い、こっこも進学クラスです。

それと、中学から仲良くなった子も進学クラスです。今は3人で行動しています。

新しい学年。嬉しいことに、1年の時よりも断然楽しいと思えました。

新しい友達も出来て、掃除の時間一人じゃなくて、たくさん笑って今はすんごくすんごく幸せです。

だけど慣れないこともたくさんあって、昨日までは鬱々としてたのですが、今日学校に行ったらあっさり治りました。

こんな風に学校が楽しいって、心臓をキリキリさせて寝ないで済むなら、これほど嬉しいことはありませんよね。

中学の時はこのありがたみを知りませんでした。

だからああいう1年があって良かったんじゃないかと今は思います。もう二度と御免ですが。

わたしを嫌う梅さんと松さんも進級しました。

梅さんと松さんは別々のクラスだったらしく、でも梅さんは違う友達と仲良くやっってるみたいでした。

反対に、たぶん松さんは学校に来ていないと思います。

松さんとは隣のクラスなので体育が一緒なのですが、まだ一度も見ることがありません。

新しいクラスに変わった時、松さんは1年同じクラスだった子とまた一緒だったみたいで、

「同じクラスだね。仲良くしよう？」

と声かけてたのをわたしは見てしまいました。

でもその子と松さんは1年の時、ほとんど関係が無かった気がします。だから仲良い人がいなかったんだと思いました。

でもわたし、少しも可哀想とは思えないんです。

むしろいい気味だって思う自分がいるんです。

わたしはすっごくすっごく嫌らしい人間なんだと改めて思いました。卑屈で狭い、最低の人間。

ちよつと新しい友達ができたからって調子乗ってるんですね。

最低最低最低。こんな自分、ほんと嫌いです。

新しい友達ができました。

でもわたしはちつとも変わっていません。最低な人間のままです。

二人のこと、まだ解決したとは思っていません。

ストーカー疑惑をかけられたかもしれない、和歌さんのことだって。だけどわたしは、解決したいとは思っていません。

そつとしておいて、できることなら忘れたい。

だって最低の人間だから。

わたしだから。

わたし以外の、何もかも新しい学校生活、今のように幸せだと思っ
ていられたらいいな。

とりあえず、明日の体育が最大の試練です。これが憂鬱の原因でした。

頑張ります。

頑張らなげや。

喧嘩

久々に更新です。

最近は、担任に嫌われたり数人のクラスメイトに嫌われたりありましたが、1年のころよりはずっと楽しいので大丈夫です。なんとなく、大丈夫な気がします。来年は分らないけど。

今日はお父さんとお母さんが大喧嘩してしまいました。数年に一度、こういう喧嘩があるのですが、年々喧嘩のいやらしさが増してる気がします。

毎回喧嘩を聞いている子供の気持ちなんて考えてないんでしょうね。前みたいに殴り合いにならないか、離婚しちゃうんじゃないか、ハラハラして胃がぐにゅぐにゅするんです。泣きたくなります。気持ち悪くなるんです。後からくごめんね>って言われても、くうん>って返せないじゃないですか。謝るなら、始めから喧嘩なんてしないでよ。こっちの身にもなってよ。夫婦喧嘩なんて聞きたくないんだよ。いつも喧嘩の内容はくだらないことばかりで、本当に大切なことを言い合わないんです。なんでそんなことで喧嘩するのか、わたしにはさっぱり分かりません。

お母さんが会社を辞めてから、色んなことが壊れてきた気がします。退社した理由は、変更された勤務時間が真夜中でも勤められない

いことからでした。

お母さんはしばらく仕事を探していて、やっと見つけた仕事先はあるホームセンターのパートでした。

ただお母さんは極端に勤務時間を減らして、お昼はずっと家で過ごすようになりました。前の仕事では夜7時に帰宅していたので、週4日で3時間くらい働くお母さんは、お父さんにはあまりよく思っていないませんでした。

月給も高校生のバイト料より少し多いくらいで、月3万と知ったときはわたしも驚きました。

お母さんのお昼からの過ごし方は、寝そべってゲーム。夏では座敷でもゲームするので、外からでも見えてしまいます。

それはさすがに、とわたしは思いますが、お母さんはまだやめようとはしません。

ただ、お母さんはちゃんと家事をこなします。

毎朝5時に起きて、掃除して、お弁当作って、みんなの朝ごはん作って洗濯物干して、それでわたしと兄ちゃんを車でそれぞれ送って仕事に行きます。帰ってきたら洗濯物畳んで、お風呂掃除して、夕ごはん作って、片付けして、布団をしきみます。

あとは座敷の荷物や部屋の服を綺麗にしたら、完璧なんでしょう。

お父さんは何度か注意するのですが、まだ汚いままで。

先週。おばあちゃんが体調を崩して入院しました。8日くらい入院するんだそうです。

それで数日前、お父さんはお母さんに、

「おばあちゃんは22日に退院だよな」と聞きました。

そしたらお母さんは、

「一応22日だけど、延びるかもしれないよ」と言いました。

お父さんは、

「迎えに行ってくれ。午後は空いてるだろ」と言いました。

お母さんは、

「午前中は無理だけど」と言いました。

お父さんは怒りました。

「もう俺が迎えに行くよ。そういう回りくどい言い方、俺はだいきれえだよ。家で寝てな」

と言つて、会社に行きました。

その時わたしは、まだベッドで寝ていたのですが、二人が口論になつて起きてしまい、二人の言い合いを聞いていました。

お父さんが会社に行くと、お母さんはわたしを起こしにきました。わたしは寝たふりをして、起きたふりをして、眠たそうなふりをしました。

お母さんは思つたよりいつも通りで、でも少し、元気ありませんでした。

その時わたしは、お母さんのほうが悪いから、元気無いのかなと思いました。お父さんが怒つたのは、お母さんの言い方がまるで、おばあちゃんの入院期間が延びてほしいと言つてるようだったからかな、と思つてました。でも違いました。

今日。病院から電話がありました。おばあちゃんが明日帰ってくるんだそうです。

お母さんは、仕事から帰ってきたお父さんにそのことを伝えました。なのに、お父さんは何も答えません。わたしはやばいな、と思いました。

「じゃあ明日俺が迎えに行けばいいんだな？」

お父さんはそう言って、この前の話をぶり返しました。お母さんはキレました。

「私は行かないなんて一言も言ってないじゃない！」

ビックリするほどの勢いで、お父さんに今まで溜めていたものを一気に吐き出したみたいなの怒り方でした。

「私は午前中は無理だから午後からね、と言いました。なのにお父さんはいきなり怒って散々私に怒鳴って。どれだけ私が悔しかったか！」

お父さんも怒りました。

「俺は22日じゃないかもしれない、午前中は無理ってのは聞いた。でも午後からは聞いてない」

「言いました！」

「言っていない！」

そこからもうその繰り返しでした。言った、言っていない。なんてそんなことで怒るのか、もうワケわかりません。

そしたらお兄ちゃんが制止にかかりました。あんな風に怒鳴る人じゃないのに、

「喧嘩はどっちも悪い！」

と言いました。

でも二人の言い合いは止まりません、言った、言っていない、言った、言っていない。

本当、そんなのどっちでもいいよ。くだらない。

二人とも自分の記憶が正しいって思ってたから、それでいいじゃんか。それでいいんだよ。お互い押し付け合う必要なんて無いんだよ。

今回は始めに噛みついたお父さんが悪いと思いました。おばあちゃん入院期間を延ばしてほしいみたいなお母さんに怒ったのかと思ったら、午後から寝てるお母さんが午前中は無理と言ったことに怒ったんです。

そんな喧嘩の原因におばあちゃんを使わないでほしい。そんなたった一言のためにあんなに怒鳴らないでほしい。

子供があそこまで言ったのに、親はまだ自分の考えを貫き遠そうと必死で、叫びに叫んだ挙げ句に子供に「ごめんね」。勘弁してほしい。

どうでもいいんだよ。言っただの言っていないだの。子供の喧嘩みただいだよ。

おばあちゃんをどっちが迎えに行くか、私が行きます、俺が行く。

またその繰り返し。

好きだからおばあちゃんを迎えに行くんじゃないで、自分が正しいと思いたくてまた口論。

子供のことなんて、なんも考えていないんだ。

頑張れる

あっという間に、ほんとあっという間に夏休みが終わり、あっさり二学期が始まってしまいました。

年々夏休みが短く感じてしまうのは、少し寂しい気がします。

今日はとつてもとつても疲れました。

疲れた日、何故かわたしはわざわざ自分を追い込むようなことをしてしまいます。

わたしって情けないな、恥ずかしいな、と自分の嫌なところをあれこれ考えては気分が沈んで、

10月はこういふ行事がある、こういふ準備をしなくてはいけない、と楽しくない予定を組み立てては落ち込んで、

わたし何考えてんだろう、もっと楽しいこと想像しなよって思っても、どうしても暗いことばかり考えてしまっんです。こういふ疲れた日には。

今日思ったこと。

ある程度仲が良くて、それで前の学校から同じクラスメイトの目が、なによりきついです。

わたし以外のみんなは、見るからに楽しそうな学校生活を送って、わたしの情けなさがより目立つ気がして嫌になります。すごくすごく惨めなんです。

こんなに暗い生徒なら、知り合いには誰にも見られたくない。ひとりぼっちでもいいから、知り合いが今のわたしを知らないでいて欲しい。関わらないで欲しい。そんな風に思っただけです。

今のわたしって何も無い。

友達少ないし、人格がちゃんとなっていないし、自信を持てる学力もないし、特技もないし、将来も決まっていなくて。見た目も悪いし、おどおどした言動も嫌いだ。ほんと嫌になる。

いつみんなに見放されるかびくびくしてしまいます。

こんな、良いところ無し、一緒にいてなんのメリットもないわたしを、ちゃんと高校生してるみんなだから、いつ見放されてもおかしくないんです。いまの状態が奇跡なんです。

その奇跡がある自分が情けないと思ってるんだから、どうしようもない。わたしってほんと馬鹿だ。

いまは何をすべきなのか、いまいよいよ分かっていません。

どれだけ考えても、さっぱり答えが出てこないんです。

こうやろう、こんなことをしよう、って決めてもすぐ投げ出して、結局また振り出しに戻るんです。何なんだろうこの甘ったれは。

二次創作も、いまはとてもしない気がないので、更新すらできません。それがほんとうに悔しいです。

それと、やりたいジャンルが何なのかよく分からなくなってきたし、最近文章力が前よりひどくなってる気がして、二次元でも落ち込むばかりです。ほんとどうしようもない。

でもとりあえず、明日もがんばります。

いま自分がやらなきゃいけないのは、これですよ。ね。
毎日学校に行く。

この積み重ねで、いつかは卒業できるんです。がんばろう。

嫌なことばかりで、胃がぐにゅぐにゅするけど、もう1日頑張れば、
土曜日だ。

二学期はたくさん行事があって辛いけど、まだわたしが頑張れる。

一年生のときより、ずっとずっと楽しいです。頑張ろう。

明日はきっと楽しいよ。

3年生

お久しぶりです。前に書いたのが去年の9月だったので、もう半年は経ってますね。すみませんでした、ちゃんと生きてます。

地震、皆さま大丈夫でしたか？

わたしが住む地域も、かなり揺れました。学年末テスト期間中でした。初めて地震を怖いと感じました。

わたしのよう人間が言っても薄っぺらい言葉になってしまうのですが、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

わたしも、気がつけば最高学年になってました。3年生。

この日記を書き始めた時には、本当に本当に憧れていた学年です。3年生。

2年生では新しい友達ができて、本当に本当に楽しくて、春休み中も早く学校に行きたいと思うようになってました。たぶん、とても良い変化なんだと思います。

そして3年生になって1ヶ月経った今も、とてもとても楽しいです。去年の秋頃から部活を兼部するようになり、1年の時とはまた違う学校生活を送っています。

掃除の時間を死ぬほど嫌うようなことも無くなりました。むしろ楽しいです。本当に良かった。

でも、また少しずつ問題が出てくるようになっていきます。同じクラスの男子数人に、馬鹿にされているような気がするんです。いや絶対してる。

たぶん、わたしの言動が面白いんでしょうね。

休み時間に落書きをしているところとか、授業中の発表の仕方とか、そういうのが面白いんでしょうね。

授業が終わり、教室に戻る途中に、筆箱からプリントを折り畳んだものを落としたので、しゃがみこんで拾ったんです。

そうしたらその時に、ちょうどわたしを馬鹿にしてる二人が後ろにいたことに気付き、わたしは拾ったら小走りと一緒にいた人たちのところに戻りました。

それで二人はあからさまにわたしを笑うんです。ぶはって。

二人はなんで笑うんだろう。

でも、きつと自分たちが一人でいたら、わたしのことを笑わないんですよね。二人だから笑っているんです。

本当にくだらないです。本当に本当にくだらない。

でも、そのことを忘れようとしても何度も何度も思い出してしまいうわたしの方がくだらない。なんでこのくらいでへこたれてるんだろう。

人を傷つける人は大嫌いです。大っ嫌い。

なんで人が傷つくって分かってるのに笑うんだろう。ぶはって笑うんだろう。わたしの名前を出すんだろう。

2年生になってから卒業するのが寂しいな、と思うようになってました。

だけど、この人たちと同じ教室から早く出たいって気持ちもあります。

同年代と派手な人たちは苦手です。もちろん派手な人がみんな悪者ってことでは無いのですが、人をあからさまに傷つけてきたのは、みんな派手な人たちでした。だから苦手です。言ってしまうと、関わりたくない。

もうすぐ中間テストです。がんばります。

それと、わたしは徹底的に地味な奴になろうと思っています。人に笑われないような、地味な人間になる。地味でも、笑い所の無いような人間になる。

愚痴ばかりですみませんでした。でもがんばります。

馬鹿にされても笑われても学校だけは休みません。がんばります。

合格（前書き）

前に書いた日記を見てみたら今と正反対のことが書いてあった驚き
ました。今は人を笑わせたいです。でもまたこんな考え変わってい
くと思います。

合格

お久しぶりです。

もうすぐ二学期も終わり、少しずつ卒業ムードに近づいてきました。

2ヶ月も前になってしまったのですが、わたしは無事短大に合格できたのでお知らせします。

元々指定校推薦なので、よっぽどのがなければ落ちることはありませんが、進路先が決まったことはとても嬉しいです。

最近には本当に就職が厳しいようで、二年後にはその厳しさを痛感するかと思いますが、将来のために頑張って勉強したいと思っています。

学校では、もちろん嫌な気持ちになることもたびたびありますが、楽しいことのほうがたくさんあって幸せです。

卒業したいけどしたくない。いまの正直の気持ちです。

ここからはただの愚痴になってしまうので注意です。

わたしはみんなから嫌われたくないっていつも思っています。好かれたいって思っています。

そのためにかは分からないけど、みんなを笑わせたいって気持ちも常にあります。

だからわたしは変なことを言うし、変なことをする。女子高生には見えないような言動だと思う。

先生に対しては、言い方が良くないけど、わたしイコール頭良いつてことになつてるから、ちゃんと敬語使つて、真面目な生徒に見えるようにちやつかり意識して行動してる。

それってすごく浅ましいことだと分かつてるけど、人に嫌われたくないって気持ちが強すぎてどうしたってやめられない。

たくさん愛想笑いすぎて何度か指摘されたことがあるくらい。でもやめられない。笑わないと場が持たない。あまり接点のない人に対する返事が笑うこと以外に思いつかない。

だから本当に、本当にどうすることもできないんです。自分では。それと、わたしは耳が遠くて、よく他人への返事が曖昧なままにしてしまうことがとても多い。

何度も何度も聞き返すと相手を苛つかせてしまうのが怖いんです。だからそれで誤解を受けてしまうこともあるんです。

昨日は二回ありました。

でもそれは、全部自分が悪いことだから、ただへこむばかりです。

一つ目は、なぜか相手が「見られたら教える」というようなこと言つたように聞こえて、わたしが最近始めたやつで軽い気持ちで検索したら見つけたその人のものを言ったら嫌われてしまいました（その人から名前だけは聞いていたんです）。

もう一つは学校で一番親しい人に誤解されて怒らせてしまったことです。

これは、わたしが一昨日、部活で机の上に教習所のカードを忘れてしまったことからでした（わたしは自動車の教習所に通っています）。

わたしは教習所に行くため、部活を早退しました。その時に、教習

所のカードを忘れてしまったんです。

その人は、その教習所のカードがないと、わたしが教習所で実施（車に乗って練習すること）ができないことを知っているので、届けようかと悩んだそうです。

わたしは、バスに乗って、出発してしばらくしてから忘れてしまったこと気づきました。

でも、今さら戻っても教習所には間に合わないし、むしろ無断キャンセルすると予約できなくなってしまうので、その人に「（カードが入っている）お財布を忘れてしまったから代わりに部費を払っておいてください」とメールしました。

ちょうどその日が引退する日だったので、貯めていた部費を支払わなければと思ったので。

もしカードが無くて運転できなかったらそれでいいと思ってました。一番大事なのは教習所に直接行って、きちんと説明することだと思っ
てました。

教習所に着いて、教習所の人に説明したら、そのカードが無くても運転できることを知りました。

本当によかったと思いました。

実施が終わってから携帯を開くと、メールが届いてました。

メールはその人からのもので、「今メール来たの気づいて、お金渡せませんでした。すみません」というようなことが書いてありました。

それと、明日お渡ししますと書いてありました。

翌日になって、そのお昼休みに、わたしはその人ではなく違う友達と、教習所について話してました。

わたしは昨日の教官にたくさんイヤミ言われたと、自分なりに冗談っぽく愚痴っていました。

その時に、その人が「教習所のカードは？」みたいなことを言ったそうなんです。

でもわたしは、それが「免許証は？」みたいに聞こえてしまい、こ

んな実施受けなきゃいけないんなら免許証なんて、

「いらねーよ！」

って言ってしまったんです。誤解ができてしまいました。

その人にとつて、そのカードは届けようかと悩んだくらいのものだつたのに、おそらくそのカードを渡そうとしたのに「いらねーよ！」と言われてしまったので、怒ってしまいました。

なのに、わたしは放課後までその人が怒っていたことに気がつきませんでした。

放課後になつて、その人からお財布を受け取ったのですが、妙に元気がなかったんです。

それは一緒に帰るときも同じで、元気がない上に声のトーンも低いから、わたしは冗談混じりに

「わたし何かした？」

と聞きました。

「何か失言とかしちやいました？」
って。

そうしたらその人が頷いて、わたしは本当に驚きました。どうして怒ったのかと聞くと、さつき書いたことを説明されました。

だけど、わたしはそのことがどうしても思い出せなくて、詳細を尋ねました。

その人は声をあらげることにはしませんでした。普段怒らない人が怒ると、怖いです。

正直、わたしもわからなくなって苛々してしまいました。最低です。それから、バスの中で、お昼休みのことを一生懸命思い出してました。

少し冷静になつてから思い出しました。その人の言った通り、わたしは確かに、

「いらねーよ！」

と言っていました。

だけど、それは決して教習所のカードのことではないんです。

それでも、聞き間違いしていたのに気づかずに、そんな適当な返事をしてしまったんだから、悪いのはわたしです。怒っていたことに気づくのも、遅かった。

ただ、わたしって本当に誤解されやすいんだなあと思ったら、バスのなかなのに泣いてしまいました。

なぜか片目だけ涙が止まらなくて、そのうち鼻水もでてきてしまったので、向かい側にいるその人に気づかれたくないと思いながら鼻水をすすりました。ティッシュなんか使えませんでした。気づかれたくありませんでした。

日付が変わったのでもう今日なのですが、その人になんて言えばいいかわかりません。

昨日謝ったことは謝ったけど、真剣さがまったくありませんでした。だから謝りません。きちんと謝ります。

でも、謝っても、また前みたいに喋れるのか分かりません。

自分のなかでは、正直なところ、もう他人と喋りたくありません。誤解を生むばかりです。もう喋りたくない。喋りたくないです。

でも人から嫌われたくないわたしはまたいつもみたいに変なこととして変なこと話して笑ってこび売って馬鹿にされてコイツとかお前とかと呼ばれてわたしばかりが損するなと時々思いながら卒業すると思います。

悪いのはわたしです。わたしだけが損すればいいです。

疲れしました。わたしは疲れたんですよ。

これを言いたかった。疲れたんです。

車に轢かれてもいいやって昨日たまに思いました。轢かれたくないけど。

でも轢かれたら期末テスト受けなくて済みます。勉強嫌いです。

期待を裏切りたくないから勉強するけど、嫌いです。

でも自分が一番嫌いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0223i/>

わたしの日記

2011年12月1日01時50分発行